

令和7年度信州大学教育学部

一般選抜（前期日程）

面接試験の概要

信州大学教育学部

面接試験を以下のように行います。出願時・受験時の参考にしてください。

面接開始前まで

- あらかじめ指定された時間に面接集合場所に集合し、当日指定された席に座ります。面接試験開始時刻まで待ちます。
- 面接集合場所の担当者が入室し、面接試験の方法について説明します。
- 面接開始時刻になったら、グループごとに誘導の担当者が試験室に案内します。
- 1グループの人数は3～6名です。自分の試験室番号が呼ばれたら、筆記用具と受験票を持ち、誘導の担当者の指示に従って集合します。
- 誘導の担当者に従って試験室まで移動します。
- 試験官の指示で、試験室の指定された場所に着席します。

面接

- 試験官の指示で、受験番号を確認します。
- 課題と面接の手順に関する問題用紙が配付されます。試験官の指示で問題用紙を黙読し、課題と面接の手順を確認します。
- 課題に関する追加の問題用紙とメモ用紙が配付されます。試験官の指示で問題用紙を黙読し、課題に関連して、自分の意見をまとめます。5分程度を予定しています。
- 課題の内容は、算数の授業で電卓を使ってよいか、小学校で清掃を無くすべきかなど、学校教育関連の問題を予定しています。一般的な時事的問題であることもあります。
- 試験官の指示で、1人1分以内で、1人ずつ意見を発表します。この際、メモ用紙を使ってかまいません。発表の順番は試験官が指示します。
- 課題について、グループディスカッションをします。メモ用紙を使ってかまいません。ディスカッションの時間は15分程度を予定しています。

- 意見が異なる場合には、異なる部分を中心としたディスカッション、意見が一致した後は、一致した意見を多くの人に伝える方法を考えるディスカッションを行う予定です。
- 試験官の指示で、1人ずつ、1人1分以内で、議論を振り返り、感想を発表します。メモ用紙を使ってかまいません。発表の順番は試験官が指示します。
- 試験官の指示で試験室から退室し、誘導の担当者に従って面接集合場所に戻ります。

面接終了後

- すべてのグループの面接終了まで、もとの座席で待機します。
- すべてのグループの面接終了後、面接集合場所の担当者の指示で解散します。

その他

- 面接試験の方法は、動画でも案内しています。信州大学教育学部ホームページからご覧ください。
- 面接試験で使用する言語は日本語とします。
- 障害等のために受験上の配慮が必要な受験生がいる場合、合理的配慮として変更の可能性がります。

以上